

ドイツの若き才能あふれるピリオド楽器奏者たちにより2013年に結成された新世代古楽パフォーマーたち

フォー・タイムズ・バロック



ヨナス・チェンダーライン
JONAS ZSCHENDERLEIN
[バロック・ヴァイオリン]



**アレクサンダー
フォン・ハイセン**
ALEXANDER VON HEISEN
[チェンバロ]



**トマス
トリーシャイン**
THOMAS TRIESSCHIJN
[リコーダー]



カール・シムコ
KARL SIMKO
[バロック・チェロ]

4 TIMES BAROQUE

ヘンデル：歌劇『リナルド』HWV7より 序曲
Georg Friedrich Händel (1685-1759): Overture from the opera 'Rinaldo', HWV 7

ブローヴォ：トリオ・ソナタ ニ短調 TWV42:d10
Pierre Provo (1667-1757): Trio sonata in D minor (formerly TWV 42:d10)

コレリ：コンチェルト・グロッソ Op.6-3 ハ短調
Arcangelo Corelli (1653-1713): Concerto grosso Op.6 No.3 in C Minor

テレマン：トリオ・ソナタ イ短調 TWV42:a1
Georg Philipp Telemann (1681-1767): Trio sonata in A minor, TWV 42:a1

ストラデッラ：シンフォニア ニ短調
Alessandro Stradella (1639-1682): Sinfonia in D Minor - for Vn, Vc & Harp

サンマルティーニ：ソナタ 第4番 ヘ長調
Giuseppe Sammartini (1695-1750): 'Sonata a due' in F major

テレマン：トリオ・ソナタ イ短調 TWV42:a4
Georg Philipp Telemann: Trio sonata in A minor, TWV 42:a4

ヴィヴァルディ：室内協奏曲 ト短調 RV104「夜」
Antonio Vivaldi (1678-1741): 'La Notte'
- Chamber Concerto in G Minor, RV104 (arr. by 4TB)

2020. **10/24 (土)** 2:00PM開演
A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売
9/10(木)

芸術文化センターチケットオフィス (10:00AM - 5:00PM)
☎ 0798-68-0255 (月曜休み ※祝日の場合翌日)
インターネット予約 <http://www.gccenter-hyogo.jp>

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。
主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター



初来日!

リコーダー、ヴァイオリン、チェロ、チェンバロからなるピリオド楽器グループ。
耳慣れたヴィヴァルディ、コレッリ、ヘンデル、テレマンなどの名曲が、斬新な彩りと輝きを
まばゆいばかりに放ちながら、聴衆と共に高揚していく愉しさ×4倍!?!のライブ・コンサート。



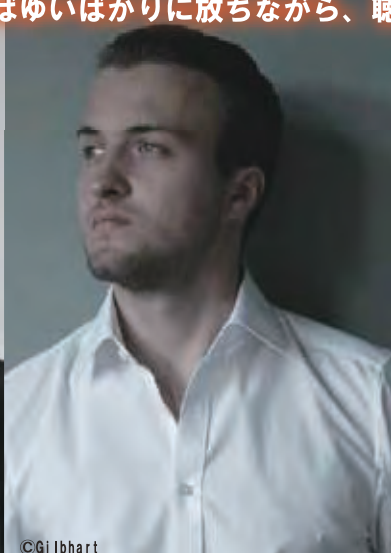
©Kenta Kawamura

ヨナス・チェンダーライン

〈バロック・ヴァイオリン〉

Jonas Zschenderlein, —Baroque Violin

1995年生まれ。ケルン音楽舞踊大学、フランクフルト音楽舞台芸術大学で学ぶ。シュトゥットガルト・パッサハカデミー、イングリッシュ・コンサート、アニメ・エテルナなど多くの古楽アンサンブルで演奏し、ときにはソリストやコンサートマスターを務める。2018年にはドイツ・ハルモニウムディ/ソニー レーベルよりデュオCDをリリース。



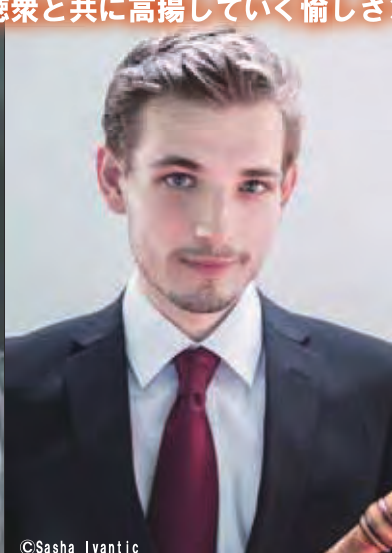
©Gibhart

アレクサンダー・フォン・ハイセン

〈チェンバロ〉

Alexander von Heißen, —Harpisichord

1995年生まれ。ドイツ国際ユース・コンペティションでは2度、第1位となる。2018年、ブルージュ国際古楽コンクール(チェンバロ部門)第2位、ライプツィヒのバツハ国際コンクールでは特別賞を受賞。これまでに著名な音楽祭に出演、オーバーリンガー、ショル、シンコフスキー、ゲーベルなどと共演している。フランクフルト音楽舞台芸術大学で学ぶ。



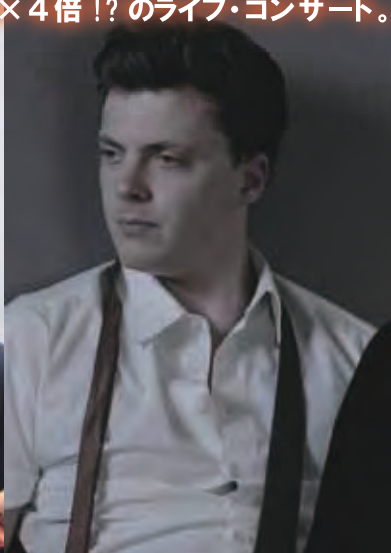
©Sasha Ivantic

トマス・トリーシャイン

〈リコーダー〉

Thomas Triesschijn, —Recorder

1992年オランダ生まれ。ハーグ王立音楽院で学ぶ。ユーロヴィジョン・ヤング・ミュージシャンズ・コンクール(オランダ)で4名のファイナリストに選ばれた。2011年プリンセス・クリスティーナ・コンクールで最高位を受賞。その後、ハーグ王立音楽院で音楽学士号を取得。2016年にはユトレヒト芸術大学で修士号を得た。著名アンサンブルで活躍。



カール・シムコ

〈バロック・チェロ〉

Karl Simko, —Baroque Cello

1993年生まれ。5歳でチェロをはじめ。14歳でバロック・オーケストラ、パッサハ・エルベンに加入。室内楽を中心に多くのプロジェクトを通して、4 TIMES BAROQUEを共同設立した。フタバエのリスト音楽院、ダルムシュタットのトンクンスト・アカデミーで学んだ。

フォー・タイムズ・バロックから日本の聴衆のみなさまへ

この日本ツアーは僕たちにとって多くの点で特別です。ヨーロッパ以外での初めてのツアー、さらにメンバーの内の2人は初めてアジアを訪れます。ヨーロッパのバロック時代の音楽を地球の反対側の聴衆のみなさんを前に演奏できること、両国の文化交流の場をいただけたこと、大変嬉しく思います。

今回演奏するプログラムは、ソニークラシカルから発売されたCD「Caught in Italian Virtuosity」の作品と、僕たちが敬愛する作曲家テレマンの曲を組み合わせたものです。テレマンのトリオ・ソナタは僕たち4人にぴったりの編成で書かれており、それぞれの楽器の良さを引き出してくれます。彼の曲は18世紀前半の様々な国の作曲スタイルを取り入れており、そしてその彩り豊かな曲調がミックスされています。

当時人気だったのは、ヨーロッパでも有名だったイタリアンスタイル、特に超絶技巧が多く取り入れられるスタイルが人気でした。コレッリとヴィヴァルディはイタリアンバロックの巨匠ですが、サンマルティーニ、そしてストラデッラは隠れた名作曲家です。

僕たちにとって「ピリオド奏法」は、バロック時代の精神とエネルギーを再び生き返らせることを意味しています。

古楽に対する感動と演奏できる喜びを、日本の聴衆のみなさんも共に感じていただけることを願っています!

フォー・タイムズ・バロックを知らない方へ

☆彼らの冴えたパフォーマンスをYouTubeをご覧ください。

4 TIMES BAROQUEで



フォー・タイムズ・バロック

フランクフルトに本拠を置くクワルテット。新世代の古楽パフォーマーの中で最も期待されているアンサンブル。ドイツ国内をはじめ欧州の著名な音楽祭に招かれ、その演奏は「新鮮で、力強く、かつ、スリリングなパフォーマンス」(フランクフルター・アルゲマイネ紙)、「古楽シーンのポップスター」「四人の若い流星たち」(シュヴェービッシュ・ポスト)など、絶賛された。

単に音楽を演奏するだけではなく、聴衆との親密な関係を大切にし、演奏する音楽とその音楽の歴史的背景の提供に心を注いでいる。メンバー4人の熱い友情は、プロとしてキャリアをスタートさせてからも変わらず、ステージ上では、その比類のない素晴らしい信頼関係を見ることができる。

2013年、ノイブルクで開催された国際マリーニコンクールで、聴衆賞を受賞。ラインガウ音楽祭、チューリンゲン・パッサハ・フェス、ヴェルツブルクのモーツァルトフェスト、ハレのヘンデル・ハウス、アンブロン音楽祭、ベルリンのコンチェルトハウス、ゲッティンゲン・ヘンデル音楽祭、リガ音楽祭などに招聘されている。2018年3月にドイツ・ハルモニウムディ/ソニーより、ファースト・アルバムをリリースし、高い評価を得る。

© Melanie Leibinger



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

